【 資料 ２ 】

平成30年度 幼児教育事業一覧

名称	月日	内容	実施内容	次年度に向けて
幼児教育審議会	①10月22日（月 ） ② 3月19日（火）	①宗像市幼児教育振興プログラムについて（報告）	①幼児教育振興プログラムに基づく平成30年度の幼児教育事業報告を行った。 また、平成31年度以降の幼児教育事業について協議、委員に各分野からの意見をいただいた。	保育の日を園の負担にならない方向で考える
幼児教育 研究協議会	第1回 7月12日（木）	「今年度事業の計画」	第3期幼児教育振興プログラムについて、重点目標が3つあること（さらなる保幼小連携、インクルーシブ教育システムの構築、家庭教育の支援）の報告を行った。平成30年度の幼児教育事業計画について開催時期や内容の説明をした。また、次年度以降の幼児教育事業について協議・検討を行った。	幼児教育振興プログラム、保育者・教員向けのパンフレット「保幼小接続期における学びのめやす」、家庭向けパンフレット「スムーズな小学校入学に向けて」の啓発（内容説明）
	第2回 9月20日（木）	「次年度の取組みについて」	保育所保育士、幼稚園・認定こども園教員研修会と第2回保幼認小義連絡会の事業報告を行った。また、保幼小連携の実態調査アンケートを現在の実態把握のため行い、市の実態に即したアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムのモデルの作成につなげたいことを報告した。平成31年度事業計画は、3つの重点についての協議・検討を行った。	
	第3回 1月24日（木）	「今年度事業の報告」	平成30年度幼児教育事業の経過報告と、平成31年度事業計画案について事業説明を行った。 平成31年度は、インクルーシブ教育システムの構築をすすめていくことを報告した。	
保育所・幼稚園・ 認定こども園連絡会	第1回 5月10日（木）	「今年度事業の計画」	幼児教育に関する協議や情報の共有及び交換等 各課からの連絡、平成30年度事業計画について、連絡事項等	－
	第2回 11月15日（木）	「保幼小連携事業について」	各課からの連絡、幼児教育事業の進捗状況について報告、要録・パンフレットの一部改訂等のお知らせ	
保育所・幼稚園・ 認定こども園・ 小・義務教育学校 連絡会	第1回 6月 6日（水）	講義＋ワークショップ 「宗像市がすすめる保幼小連携について」 「保幼小の連携・接続の課題とは何か」	・行橋市きらきら星幼稚園の園長 黒田秀樹氏による講義とワークショップ ・宗像市がすすめる保幼小連携についての説明 （保幼認の園長、小義校長 35名参加） 第1回保幼認小義連絡会（園長・校長対象）のアンケート集計結果から、児童の小学校入学後の5月頃に情報交換会を開催してほしいとの意見があった。	①児童の小学校入学後の情報交換会の開催 ②スタートカリキュラム作成準備
	第2回 8月22日（水）	小学校参観＋情報交換会	市役所会議室にて、5～7月の学校の日に小学校参観をしたことを踏まえての情報交換会（保幼認小義の先生 39名参加）	
	第3回 2月20日（水）	保育参観＋情報交換会	浄徳寺幼稚園にて保育参観、その後、グループに分かれてスタートカリキュラムについて演習、意見交換会（保幼認小義の先生と市職員 41名参加）	
保育所保育士、 幼稚園・認定こども園 教員研修会	第1回 8月 8日（水）	「保護者との関わり方について」	幼児教育研修として、福岡教育大学の教授 植村善太郎氏から「保護者との関わり方について」を開催（保幼認の先生 51名参加）	インクルーシブ教育システムの構築の推進
	第2回 9月20日（木）	「ちょっと気になるお子さんへの理解と支援」	発達支援の研修、「ちょっと気になるお子さんへの理解と支援」について開催（保幼認の先生 87名参加）	

連携事業

統一入学説明会	2月 6日（水）	市内小学校・義務教育学校 全15校	各小学校において、入学説明会に保幼認の先生が参加。園児の体験入学を見学	－

その他の事業

保幼小連携だより	年2回発行 （11月、3月発行）	保幼小連携と接続強化のための取り組みを紹介	（保幼小連携だより第8号の内容）第1・2回保幼認小義連絡会、宗像市保育所保育士、幼稚園・認定こども園等教員研修会、保幼小連携の推進に向けての実態調査アンケート	－
			（保幼小連携だより第9号の内容）第3回保幼認小義連絡会、要録・パンフレット「学びのめやす」「スムーズな小学校入学に向けて」の一部改訂について	
保幼小連携の推進に向けての実態調査アンケート	8月実施	さらなる保幼小連携や幼小接続に向け、現在の取組みの実態把握を行うため、アンケートを実施 （内容） ・保幼小連携 ・インクルーシブ教育システムの推進 ・市の作成したパンフレットの活用等 （配布対象） 保育所14園、幼稚園5園、認定こども園4園、小学校・義務教育学校15校	（アンケートの結果） ・連絡会の保育参観と意見交換会には、すべての園が参加している。 ・パンフレット「学びのめやす」と「スムーズな小学校入学に向けて」は保育者の80%が活用している。市の幼児教育指針である「幼児教育振興プログラム【第3期】」については、約60%の活用結果であった。 ・園児の特性に合った適切な指導を行うための支援体制として、職員間での情報共有、支援機関との連携、職員配置や保護者とのコミュニケーションが挙がっている。 ・学校全体の分のアンケートからは、園児と小学校児童との交流回数は、年に1～2回が多い。先生方同士の交流は、全体の3分の2行われており、交流の時期としては、入学前の2～3月に行われている。希望する研修としては、保幼小連携・接続等が挙げられた。 ・また、小学校の先生は、パンフレット「学びのめやす」「スムーズな小学校入学のために」を100%活用している結果が出た。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は61%の先生が知っているという結果だった。	①幼児教育振興プログラムの啓発 ②さらなる保幼小連携